

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

794

まちなか魅力創出事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	1	中心市街地の魅力向上
施策	1	中心市街地の魅力向上
取組方針	2	賑わいの創出

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		まちづくり推進費	
	大事業		まちづくり推進事業	
	中事業		まちなか魅力創出事業	

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 商工振興課 谷 昌樹 435-1233
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	まちなかの魅力を向上させるため。		まちなかを歩いて楽しく過ごせるよう、まちなかの魅力を向上させる事業を実施する。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。	・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。	・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。	・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。	・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。
		・雑賀町公衆便所の維持管理	・雑賀町公衆便所の維持管理	・雑賀町公衆便所の維持管理	・雑賀町公衆便所の維持管理	・雑賀町公衆便所の維持管理
		・まちなかで新規開業を促すイベントを実施する。	・まちなかで新規開業を促すイベントを実施する。	・まちなかで新規開業を促すイベントを実施する。	・まちなかで新規開業を促すイベントを実施する。	・まちなかで新規開業を促すイベントを実施する。
		・学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施する。	・学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施する。	・学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施する。	・学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施する。	・学生と商店街が連携した商業活性化事業を実施する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	11,089	12,227	12,615	24,951	11,698	10,134	11,763	0	11,763	0
伸び率(%)	△44.6%	△36.7%	13.8%	104.1%	△7.3%	△59.4%	0.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	9,746	8,538	8,440	12,740	12,412	8,688	9,619	0	9,619
	正規職員以外	114	1,309	1,388	0	0	0	0	0	0
	小計	9,860	9,847	9,828	12,740	12,412	8,688	9,619	0	9,619
国庫支出金	1,256	2,270	2,717	15,882	5,107	5,006	2,657	0	2,657	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	90	47	90	51	90	0	90	0	0	0
一般財源(税等)	9,743	9,910	9,808	9,018	6,501	5,128	9,016	0	9,106	0
所要人数(人)	正規職員	1.21	1.06	1.06	1.60	1.60	1.12	1.24	0.00	1.24
	正規職員以外	0.07	0.71	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	イルミネーション装飾委託料 5,616千円、まちなかイロドリ業務委託料 3,171千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	「まちなかイロドリ」で使用した物件数	件	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	5	5		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	「まちなかイロドリ」で使用した物件での新規開業店舗数	店舗	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	1	2	2		
			達成度(%)	50%	100%	100%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーションやまちなかで新規開業を促すイベントの実施等は、まちなかの交流人口の増加や賑わいの創出に寄与している。 ・まちなかイロドリ事業でこれまで活用した空き店舗33件ののうち、14件が開業に至っており、まちなかの空き店舗解消に寄与している。
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主体のイベントから民間主体のイベント開催への移行を進めていく。(魅力ある商店街づくり事業において、平成30年度からナイトマーケット等の事業を補助対象に追加。) ・大学が新設され、まちなかでの若者向け店舗の新規開業が進む中、まちなかの大学生と商店街が継続して関わる仕組みの構築を図っていく。